

和歌山城から始めよう！「みんなにやさしい和歌山をつくる会」

第 29 回 定例会（平成 25 年度事業報告会）

記録 川島・山本

日 時	平成 26 年 7 月 12 日(水) 14:00~16:00
場 所	和歌山市 NPO・ボランティアサロン（フォルテワジマ 6F）
参加メンバー (敬称略・順不同)	笹尾恭子 橋本雅史 川島寛子 鈴木裕範 豊田泰史 山一小百合 山田佐和子 津村雅枝 木下顕次 山本敦子 古川祐典 山本智子 酒田祐子 川崎雅史 計 14 名
議 案	1 平成 25 年度の活動報告 2 「みんなで祝おう！お城バースデー お城再建 55 フェスタ」報告 3 和歌山城を取り巻く現状について（史跡との共存） 4 今年度目指すもの 5 ユニバーサルデザインについてちょこっと勉強会

【議案 1 について】

平成 25 年度に実施した定例会などの活動の報告と収支報告の承認について川島より報告

【議案 2 について】

「みんなで祝おう！お城バースデー お城再建 55 フェスタ」について山本とより報告

【議案 3 について】

和歌山城を取り巻く現状について（史跡との共存）

→5 月 25 日（日）車椅子のご利用者、6 月 8 日（日）視覚障がい者の方と城内を実際に回ってみて感じたことの報告を川島より行う。

①昨年度より和歌山市が一の橋から岡口門までと松の丸（七福の庭前）の園路整備を行ってくれた。

この園路整備により車椅子を利用する者、押す者にとってもかなり負担が軽くなった。

②視覚障がい者にとって必要なものは何かを一緒に城内および天守閣を歩いて知ることができた。

点字ブロックの再確認、手で触れて知る歴史的なもの（レプリカ）、音声ガイドなど

【議案 4 について】

表坂と裏坂の合流点から少し上の石段にかけるスロープについて橋本より説明。

会として目指すものについて、討論。

・橋本より説明のあった、スロープを設置することは決定事項なのか。

・バリアフリー実現のために考えられる手段。

地下トンネル&エレベーターで天守閣まで最短距離で上がる

砂の丸から鶴の溪へのスロープの可能性

モノラック

エレベーター

新裏坂をなだらかなスロープに改修（新裏坂は大正時代にできたものなので手を加えられる？）

青石によるモザイク状の敷石及び本丸御殿跡付近の岩の凹凸部分に車椅子が通れる幅での園路整備は可能か？

橋本案のスロープを端でなく、礎石を隠さないように中央部分に設置するのはどうか？

スロープを透明な素材で造るのは？

史跡を考え大切にしながらバリアフリーを考えていく。（例 スロープを設置するとともに礎石の

説明看板も設置する等)

- ・ 短期的な目標、長期的な目標を立てることが必要。
- ・ バリアフリーの実現と景観、歴史的要因の保全についての可能性。
→ なかったものを造ることはいけない。歴史的な価値のあるものを隠してはいけない。
- ・ お城で大切なのは、石垣＞天守閣。

【議案 5 について】

具体的な事例については、後日とした。

【その他】

自己紹介を兼ねて、この会についての意見を述べてもらった。

具体的な案を提案するとともに行政とも意見交換の場を作っていく。

障がいを持った方ともこのような話をする機会を作っていくことが必要では？